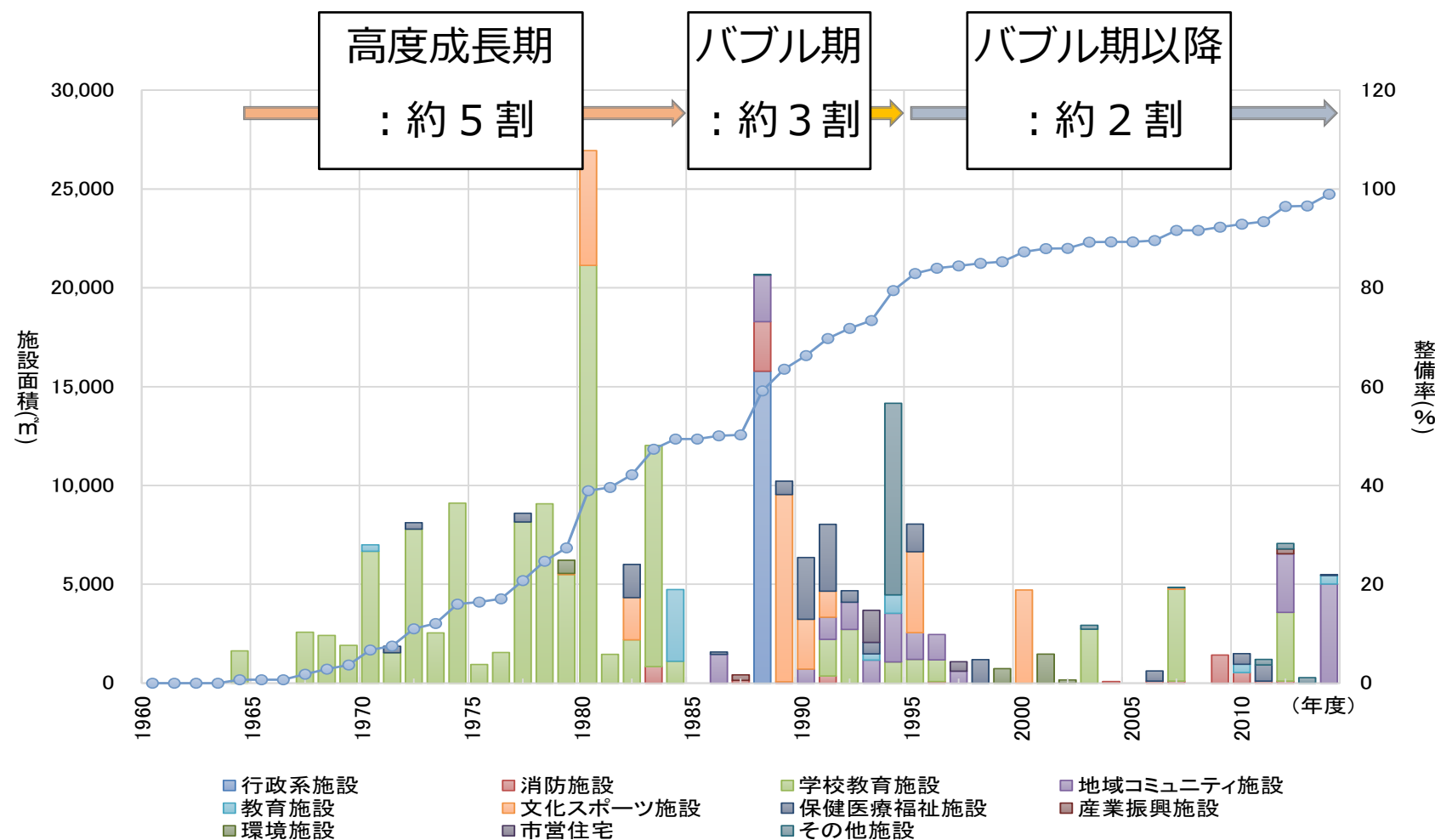


# 前回までのふり返し

## 「海老名市公共施設再編（適正化）計画」の概要説明

建設年度別・施設面積の分布（市保有分）



### 問題①：公共施設の老朽化

30年以上経過した建物が  
全体の約 8 割



近い将来、老朽化に伴う大  
規模改修や更新（建替）が必  
要な建物が増大

### 問題②：多額な維持費

全て保有し続けるためには  
膨大な将来費用が必要



今のまま保有するのは困難

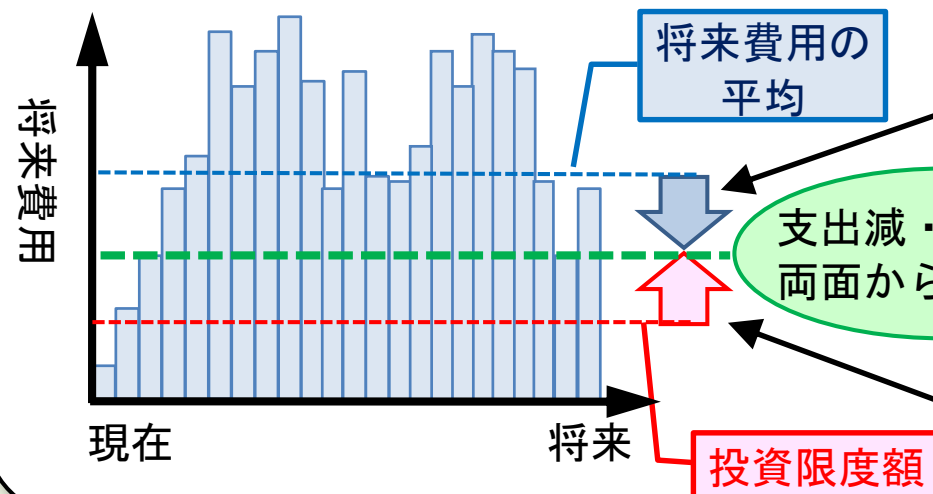
# 「海老名市公共施設再編（適正化）計画」の概要説明

「基本的な対応方策」の関連性イメージ

個々の市民利用施設におけるサービスのあり方や  
整備・維持管理の方法について検討・見直し

方策1 施設分類ごとに取り組む方向性を明確化

【将来費用の問題への対応】



方策2 市民利用施設の保有にかかるコストの縮減

方策3 市民利用施設に投入する財源の確保

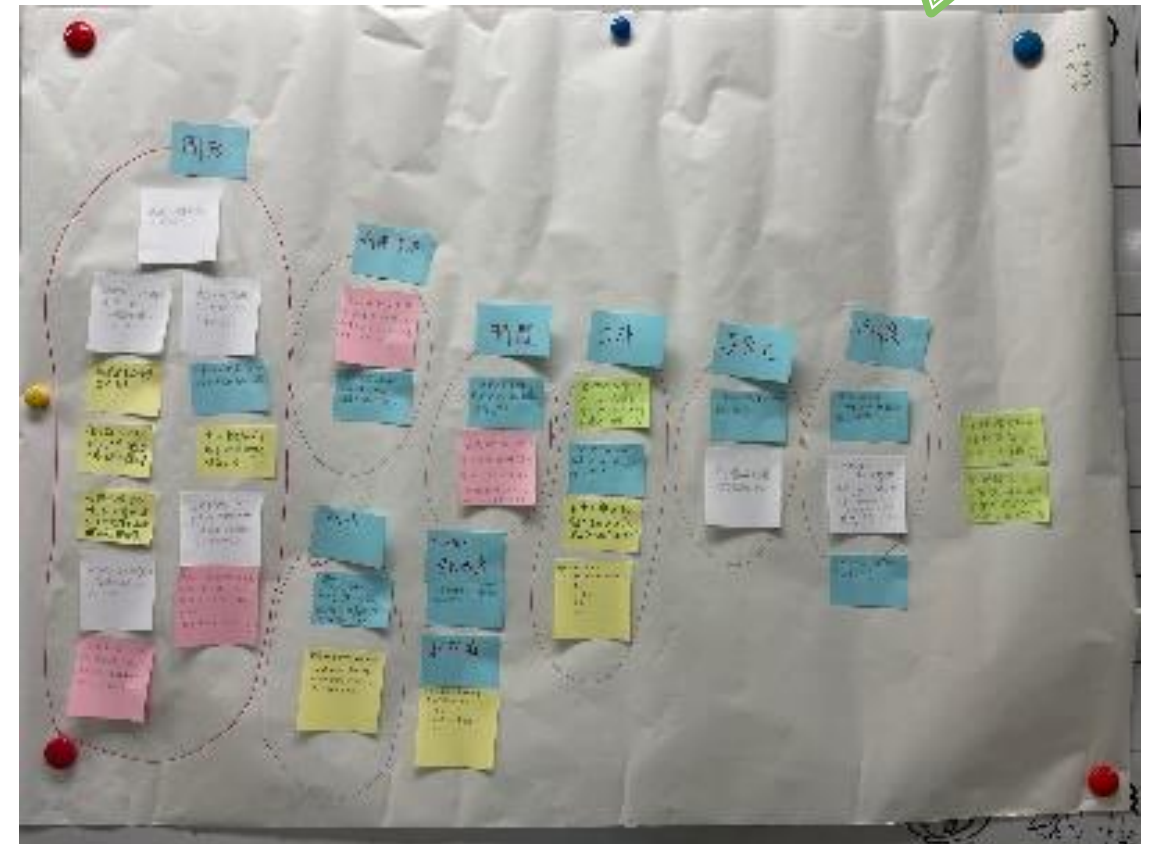
市民利用施設の整備  
・維持管理の考え方

## 市民アンケート案の作成

統廃合ありきだけでなく、大きなビジョンや夢をもって計画をたててほしい。世代間の公平性や将来の子育て環境について問いたい。

既存施設の複合化案を問うてみては？

その施設を利用するときの交通手段。公共交通を作ってほしい。



### 参考事例① 武蔵野プレイス（東京都武蔵野市）

- 図書館、カフェ、生涯学習支援（スタディコーナー、ワーキングデスク等）、市民活動支援（会議室等）、青少年活動支援（スタジオ等）などが一体となった複合施設



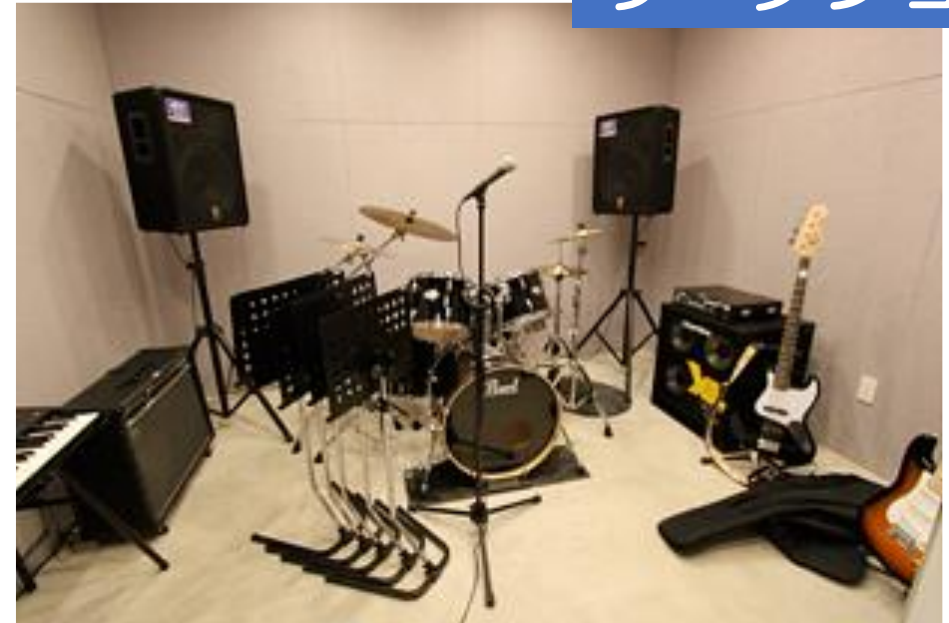


# 参考事例① 武蔵野プレイス（東京都武蔵野市）

## 第2回 ワークショップ



メインライブラリー



サウンドスタジオ

地下2階は、ティーンズスタジオで、  
青少年の居場所（ダンス・バンドの練習など）



ワーキングデスク

3階は、ワークラウンジ（市民活動フロア）  
となっている



カフェ

1階入り口に、総合受付・ギャラリー・  
カフェなどがある

まる

まる

## 参考事例⑤都城市中心市街地施設「MALL MALL」（宮崎県都城市）

- 経営破たんした商業施設を図書館等の複合施設に転用。
- 図書館、子育て活動支援センター、未来創造ステーション・まちなか交流センター・保健センター等の複合施設となっている。



＜階数＞

RC造（免振）、地上5階、地下1階

＜延床面積＞

約10,900㎡、図書館8,046㎡（蔵書30万冊）



# 参考事例⑤ 都城市中心市街地施設「MALL MALL」

## 第2回 ワークショップ



屋根付きのイベント広場「まちなか広場」



2階に10代しか使えない居場所を提供  
「ティーンズスタジオ」：  
宿題を教え合ったり、調べ物をしたりするスペース



市民が地域の情報などを発信するプレススタジオ



- 中心市街地の少子化問題を解決するため、五つの小学校と二つの中学校を一つにする全国でも珍しい大規模な統合で、2020年4月に開校
- 人口約13万人の瀬戸市には、統合前は小学校は20校、中学校は8校あった。廃校舎のうち一つは私立小学校に。残りは福祉や防災の拠点にするため、地域で活用法の検討が進む



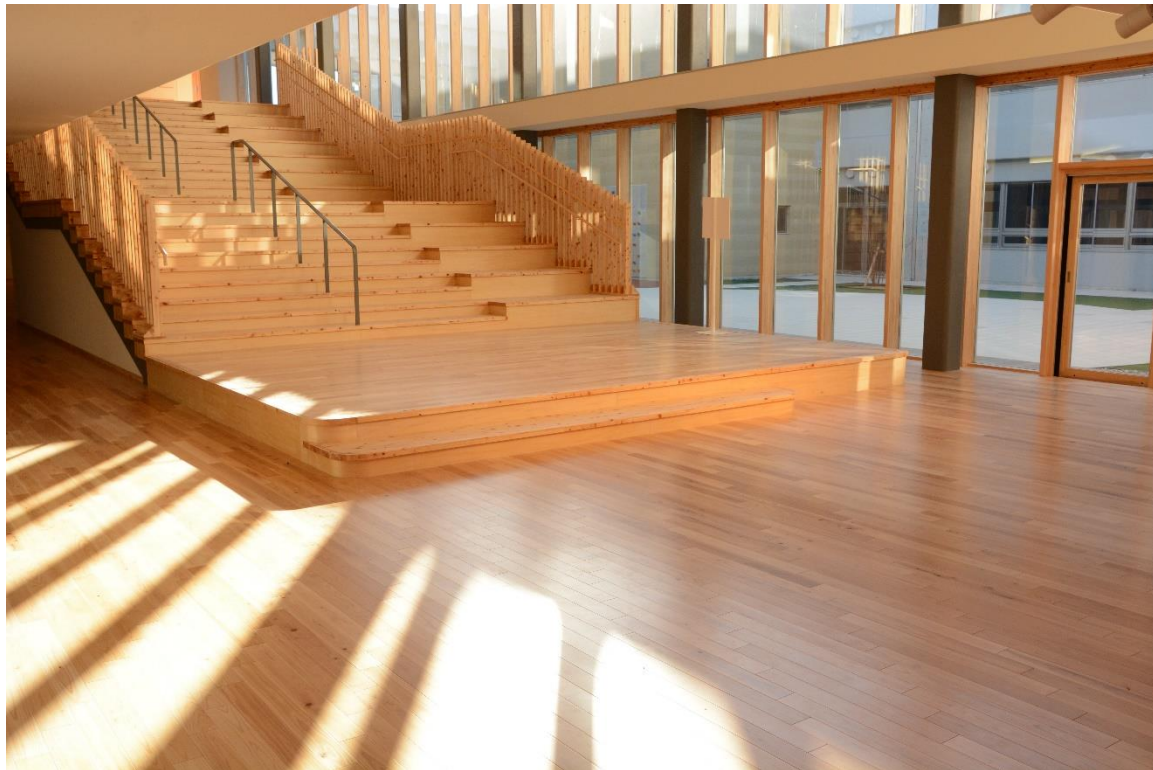
- 学校規模（2021年度）
  - 小学校：1学年3～4学級  
計689人
  - 中学校：1学年2～4学級  
計245人





# 参考事例⑥ 瀬戸市立にじの丘学園（愛知県瀬戸市）

## 第2回 ワークショップ



さまざまな児童生徒が交流する階段



登下校に路線バスを使う



おんぶやだっこで触れ合っている児童生徒



理科ボランティア（実験をサポート）



# 第2回グループ発表の概要

## テーマ「公共施設ごとにどうあるべきか考えよう！」

## 第2回 ワークショップ

### ■グループワークの成果



課題

大事な  
こと

将来に  
向けて

### ■主な発表内容

#### 小・中学校

- ・小中学校は小中連携、地域との連携が大事だと思う。
- ・一番大事なのは、子どもたちがトキメキをもって楽しく学べること。
- ・地域ごとに課題も変わってくる。駅近くは教室が足りないし、南部は教室が余っている。

#### コミュニティ センター・ 文化センター

- ・コミュニティセンターは、地域のコミュニティをつくっていく場として、存在し続けてほしい。
- ・班の中でも施設の廃止と存続の両方の意見があった。
- ・使っていない人が多い。

#### その他

- ・徒歩圏に避難所機能を有する施設を残す。
- ・施設を統合すると、元の施設から遠くなる人が出てくるので、公共交通や駐車場の確保が必要。

#### 小・中学校

セキュリ  
ティの確保

通学路の  
安全性

小中学校  
統合も考  
えては？

卒業生の思  
い出は残す

朝登校したく  
なるようなト  
キメキのある  
学校

登下校にスク  
ールバス

老朽化

交通が不便  
なイメージ

生徒数が多い  
学校と少ない  
学校

小学校と学  
童は統合す  
るべき

生徒が少な  
くなくても分  
校として残す

コミセン不要  
では

スマホで予  
約したい

人口の増減、  
地域によっ  
てちがう

使用頻度の少  
ない教室の有  
効活用方法

複合化するこ  
とのセキュリ  
ティ

Wi-Fiがない  
ことで活用  
できない

駐車場有料  
化は負担大。

学童とのつな  
がり。市内  
でも地域差  
あり。塾な  
どが受け入  
れ。

少人数の教  
室の方が良  
い教育可能。

将来に向け  
ても無料で  
の対応をは  
かるのか？

有馬図書館  
とコミセン  
の複合化で  
子供が行き  
やすい環  
境となった。

発展する海  
老名より自  
然が残され  
ている海老  
名でありたい

#### コミュニティセンター ・文化センター

駐車場の数  
を増やす。少  
ない所が多い。

民間をもっ  
と入れて利  
便性を良く  
して欲しい

#### その他

避難所の  
電源確保

公共交通機  
関の確保

市内の中  
学校単位に  
複合拠点を整  
備すればコス  
トと利便のメ  
リットありで  
は

徒歩圏に必  
ず避難所機  
能を有する  
施設を残す

図書館+飲  
食カフェ的  
スペースで  
利用しやすい◎

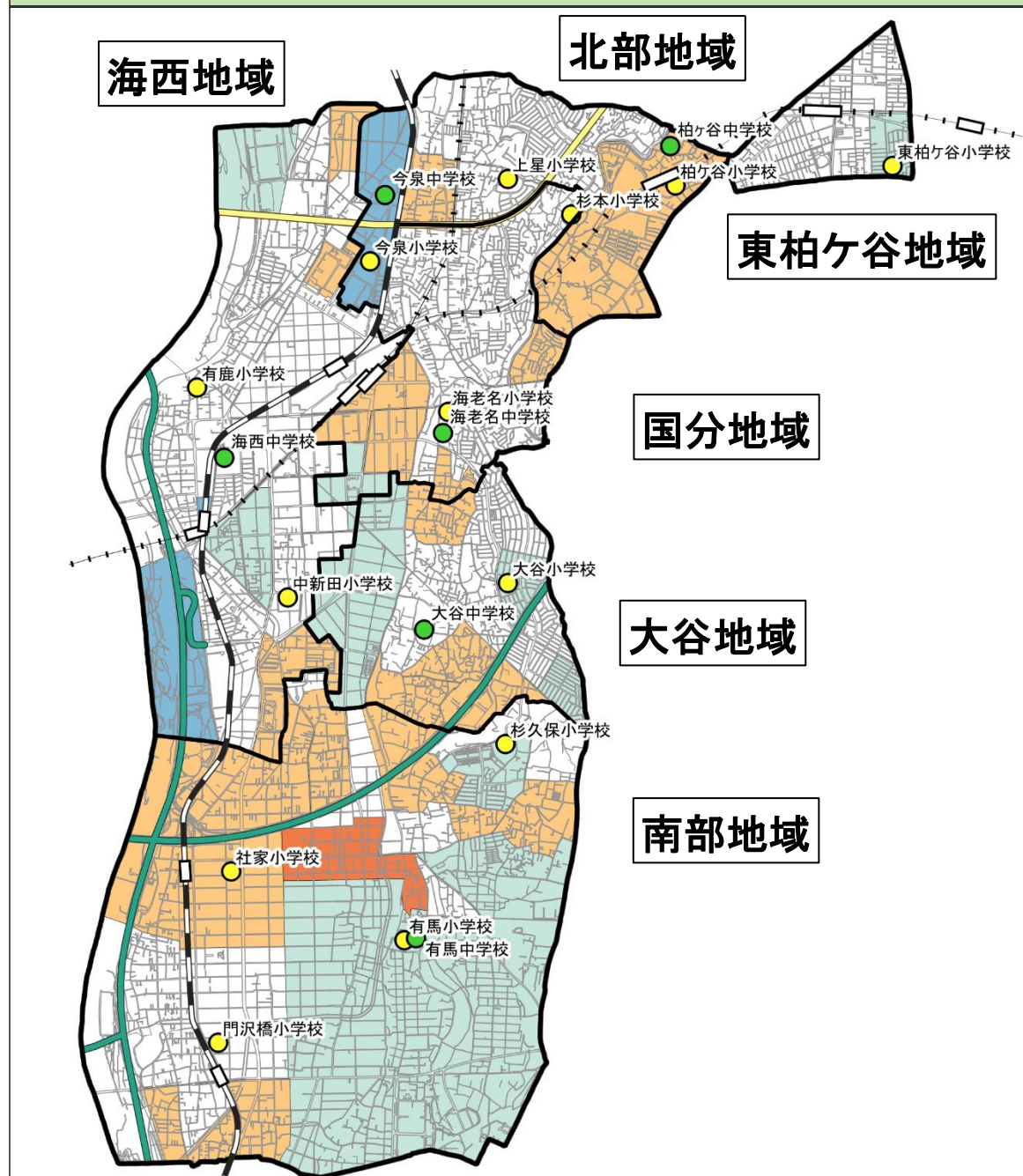


# 地域別人口変化

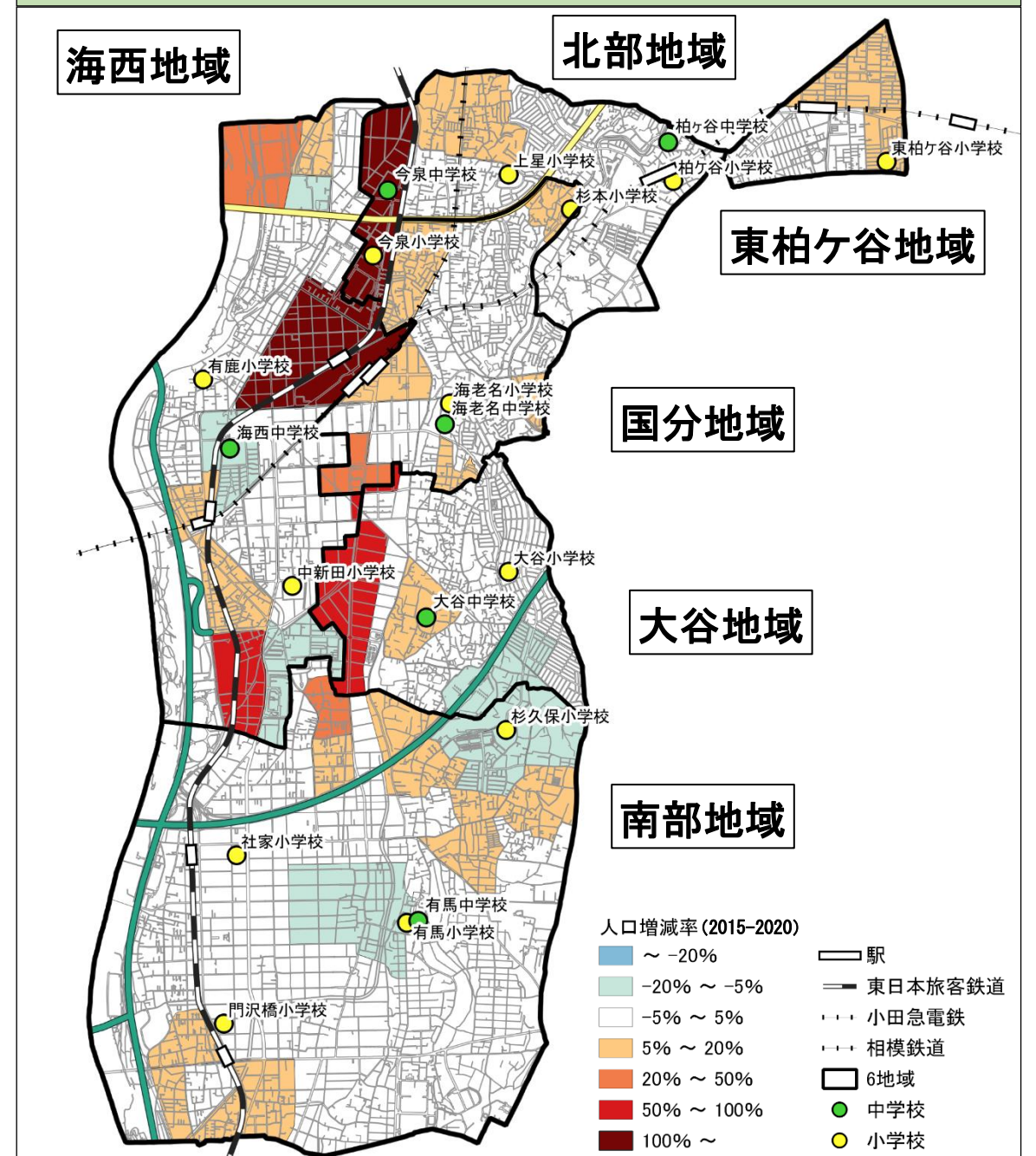
## 第3回ワークショップ

- 2010～2015の変化では駅周辺で人口増加がみられ、駅から離れた地域で人口減少がみられます。
- 2015～2020の変化では海老名駅周辺で急激な人口増加がみられます。

2010～2015の人口増減率



2015～2020の人口増減率



人口増減率(2015-2020)

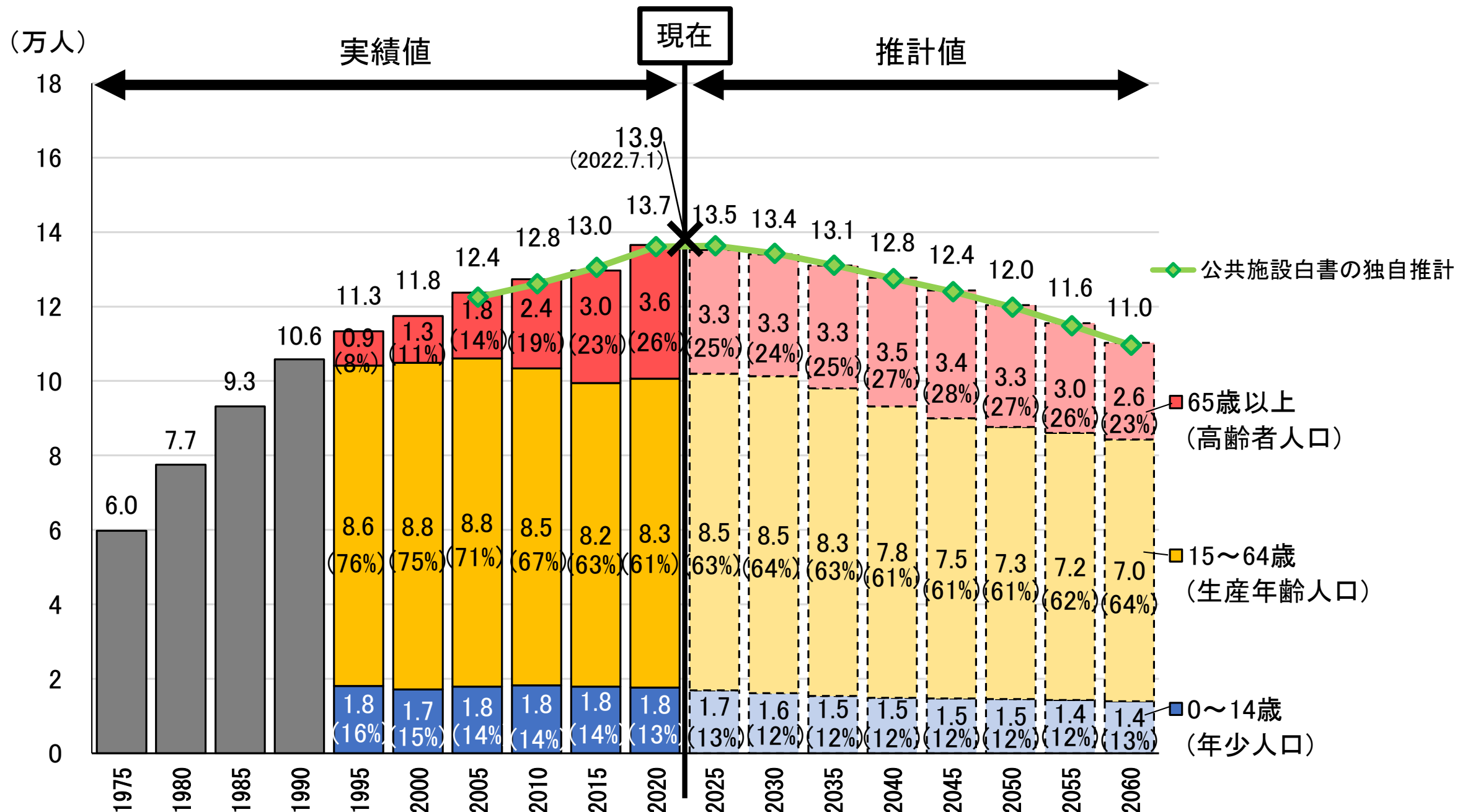
～ -20%  
 -20% ～ -5%  
 -5% ～ 5%  
 5% ～ 20%  
 20% ～ 50%  
 50% ～ 100%  
 100% ～

駅  
 東日本旅客鉄道  
 小田急電鉄  
 相模鉄道  
 6地域  
 中学校  
 小学校

# 海老名市の人口動態

## 第3回ワークショップ

- 海老名市の総人口は2022年7月1日現在、13.9万人で、当初の人口推計（2023年ピーク想定13.7万人）を上回る社会増が生じています。
- 3階層別では、1995年から2020年にかけて高齢者人口が増えて生産年齢人口が減り、今後も引き続き生産年齢人口が徐々に減少する見込みです。

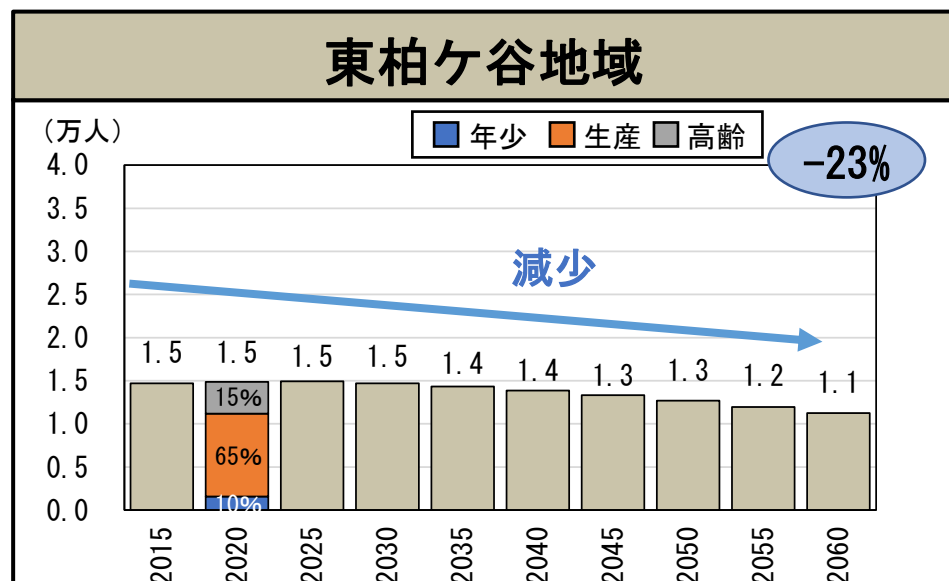
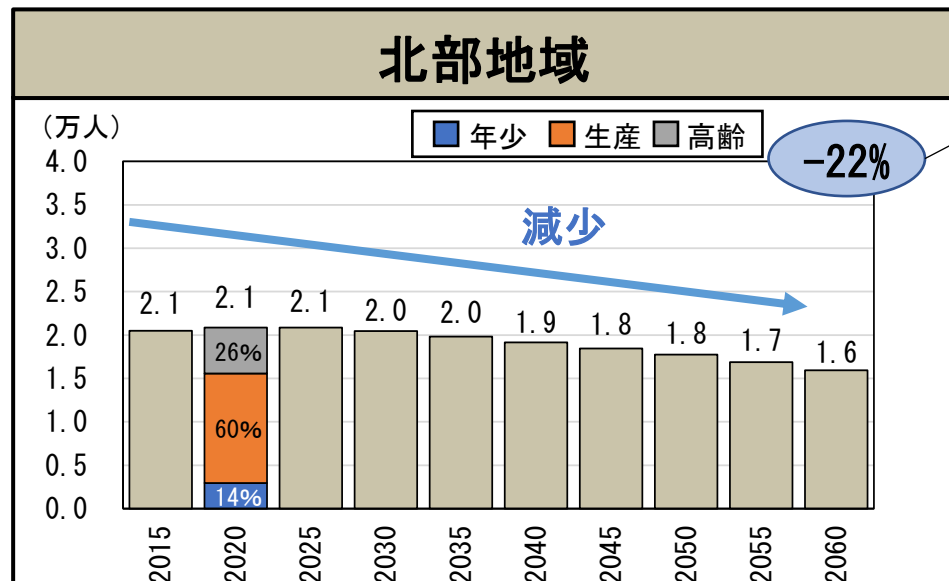




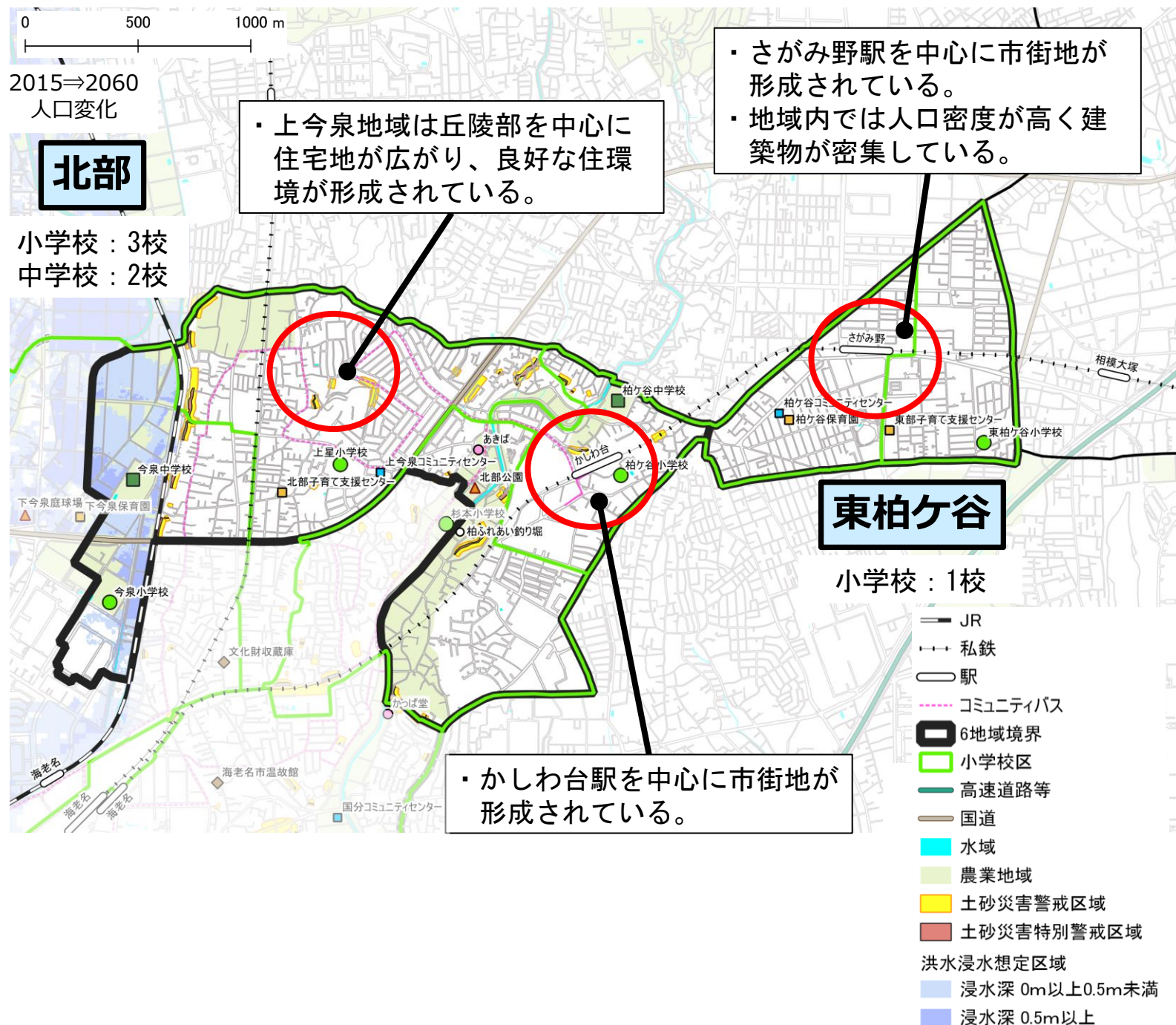
# ①北部・東柏ケ谷

## 第3回ワークショップ

- 相鉄線の駅である、さがみ野駅・かしわ台駅を中心に市街地が形成されています。
- 2地域とも人口は緩やかに減少しており、東柏ケ谷地域では人口密度が15,492人/km<sup>2</sup>と6地域の中でも人口密度が高い地域となっています。



	北部地域	東柏ケ谷地域
地域の面積	2.53km <sup>2</sup>	0.96km <sup>2</sup>
人口密度 (2020年)	8,245人/km <sup>2</sup>	15,492人/km <sup>2</sup>



(出典) 人口：立地適正化計画2019.3 (※2020年の内訳は世帯予測ツールV2 (国交省国土技術政策総合研究所) を基に仮算出)

地域面積：HP 地区別面積

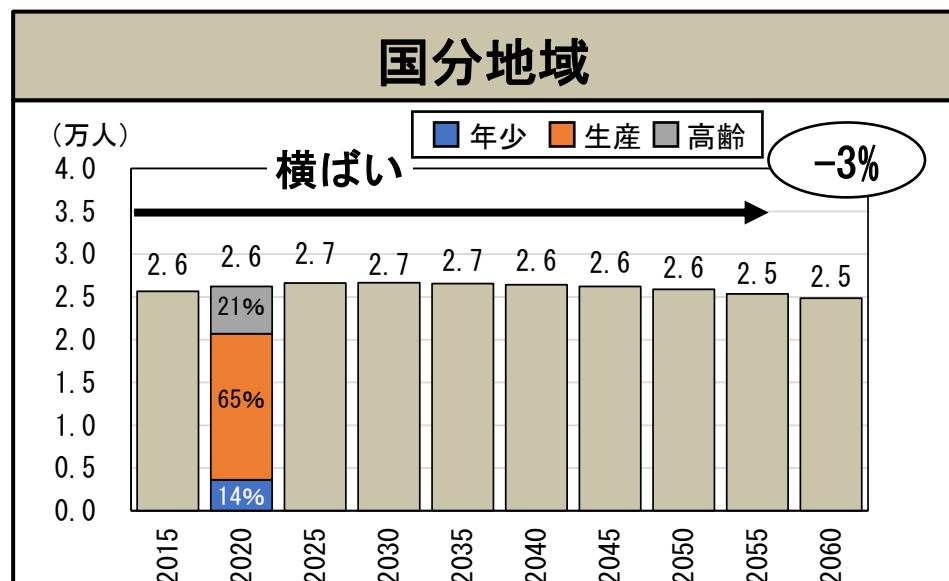
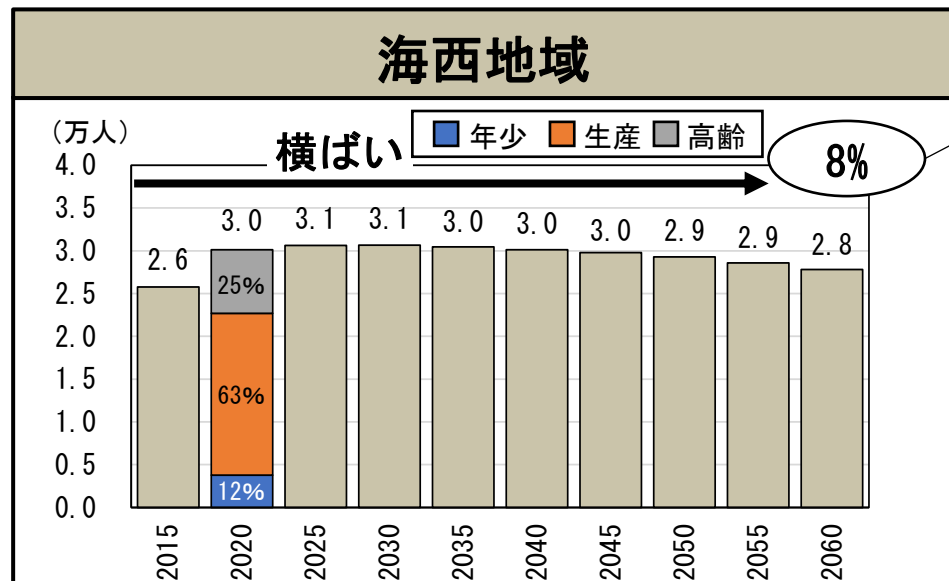
洪水浸水想定区域：国土数値情報 (洪水浸水想定区域) (国土交通省)、海老名市ハザードマップを基に作成  
土砂災害警戒区域：海老名市ハザードマップを基に作成



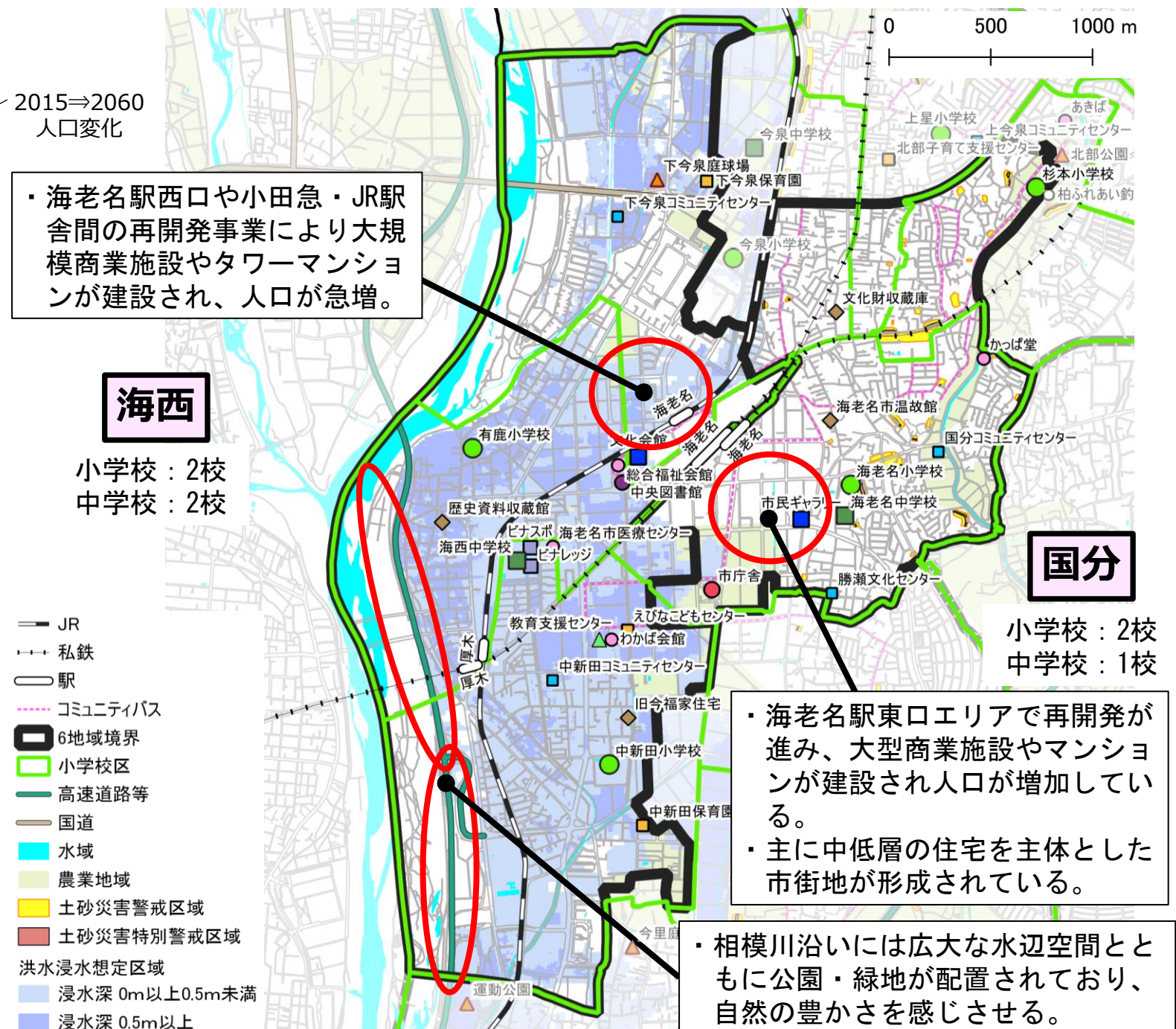
## ②海西・国分

## 第3回ワークショップ

- 海老名駅周辺の再開発事業により、商業施設やタワーマンションが建設され、人口増加が見込まれています。
- 人口は横ばいで推移していますが、開発動向により人口の変化が大きく出る可能性があります。



	海西地域	国分地域
地域の面積	6.80km <sup>2</sup>	2.66km <sup>2</sup>
人口密度 (2020年)	4,428人/km <sup>2</sup>	9,862人/km <sup>2</sup>



(出典) 人口：立地適正化計画2019.3 (※2020年の内訳は世帯予測ツールV2 (国交省国土技術政策総合研究所) を基に仮算出)

地域面積：HP 地区別面積

洪水浸水想定区域：国土数値情報 (洪水浸水想定区域) (国土交通省)、海老名市ハザードマップを基に作成

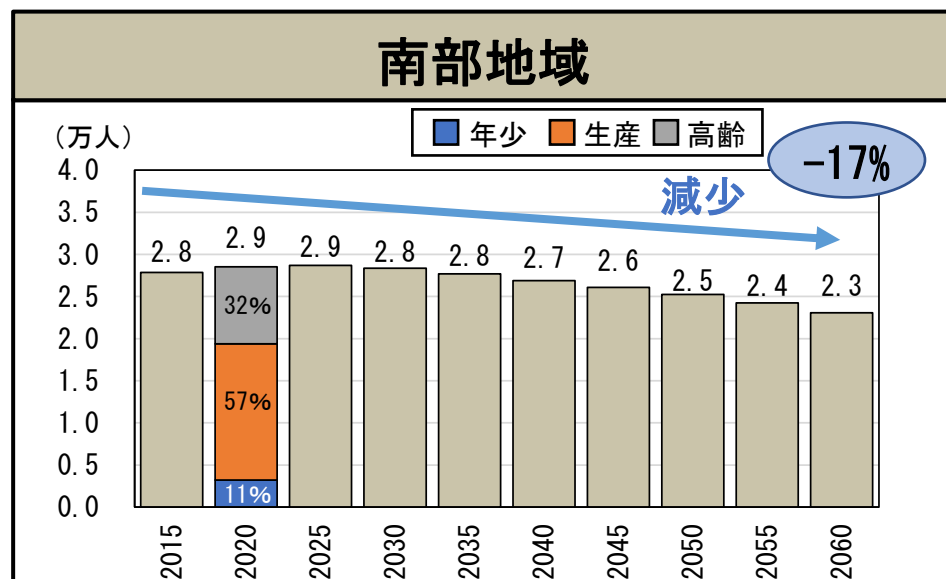
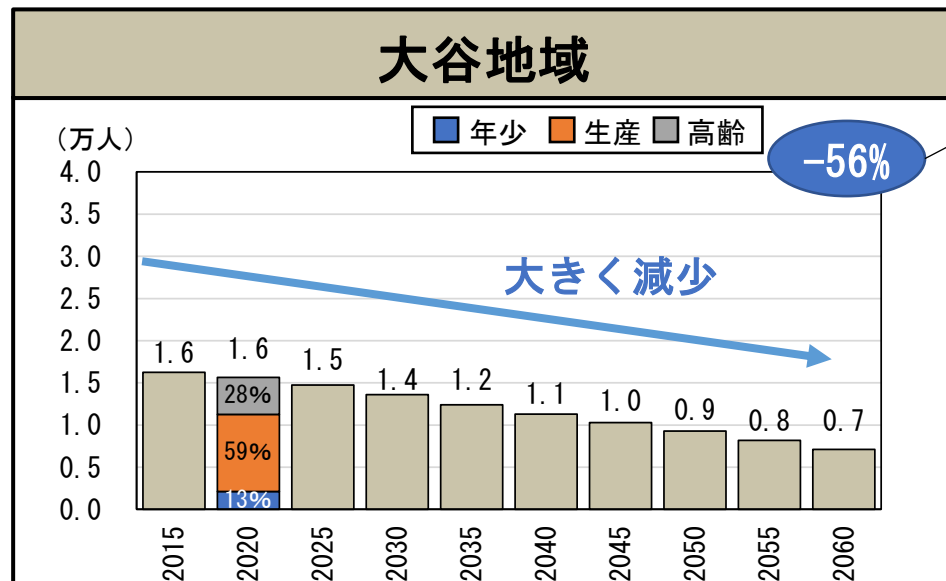
土砂災害警戒区域：海老名市ハザードマップを基に作成



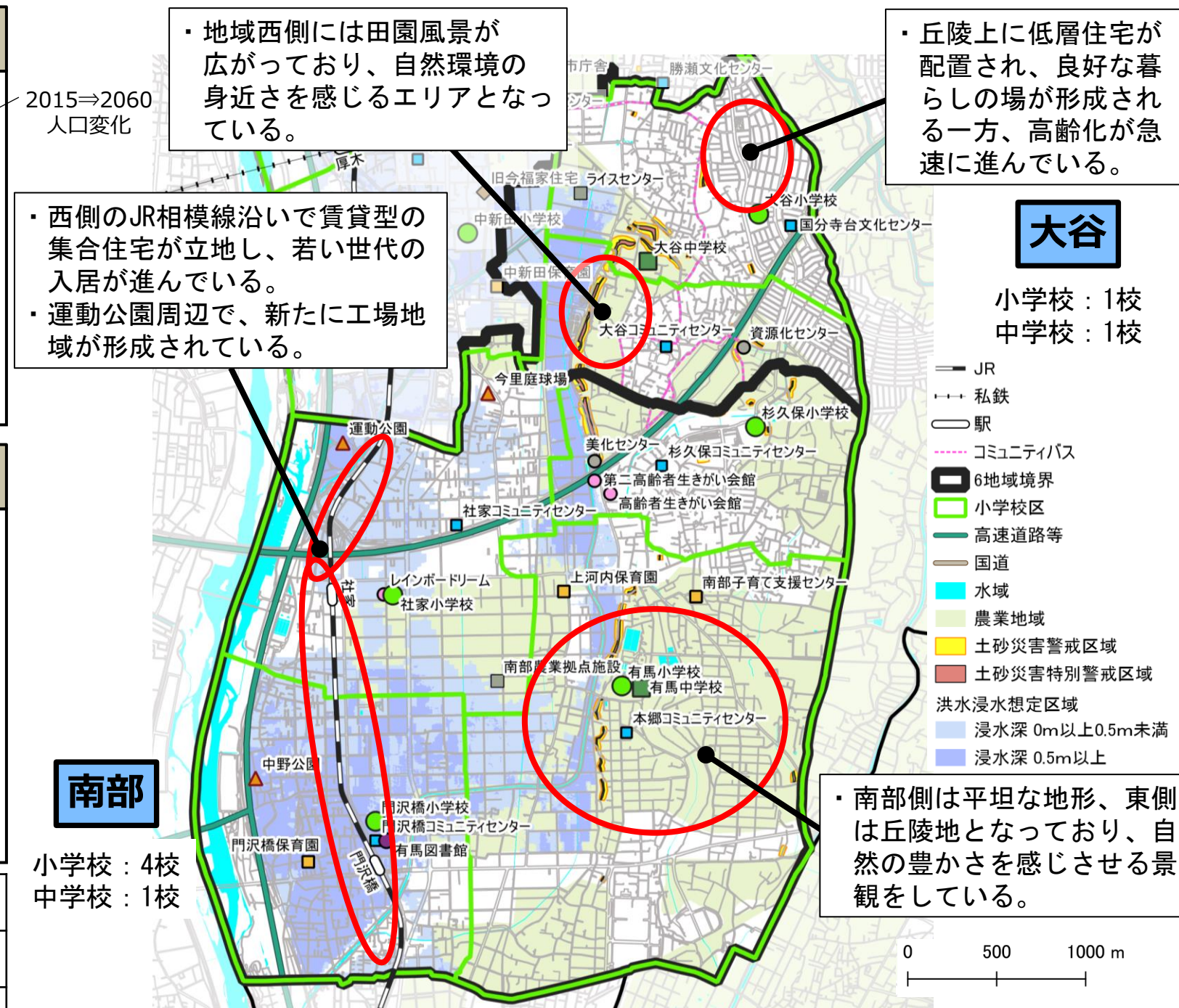
### ③大谷・南部

## 第3回ワークショップ

- 南部地域の線路沿いで都市開発が進み住宅や工場が増えている一方、東側では田園と丘陵地があり、今後人口の減少がみられます。
- 大谷地域では今後人口の減少が大きく見られ、高齢化が進行すると予測されます。



	大谷地域	南部地域
地域の面積	2.81km <sup>2</sup>	10.83km <sup>2</sup>
人口密度(2020年)	5,564人/km <sup>2</sup>	2,633人/km <sup>2</sup>



(出典) 人口：立地適正化計画2019.3 (※2020年の内訳は世帯予測ツールV2 (国交省国土技術政策総合研究所) を基に仮算出)

地域面積：HP 地区別面積

洪水浸水想定区域：国土数値情報 (洪水浸水想定区域) (国土交通省)、海老名市ハザードマップを基に作成

土砂災害警戒区域：海老名市ハザードマップを基に作成

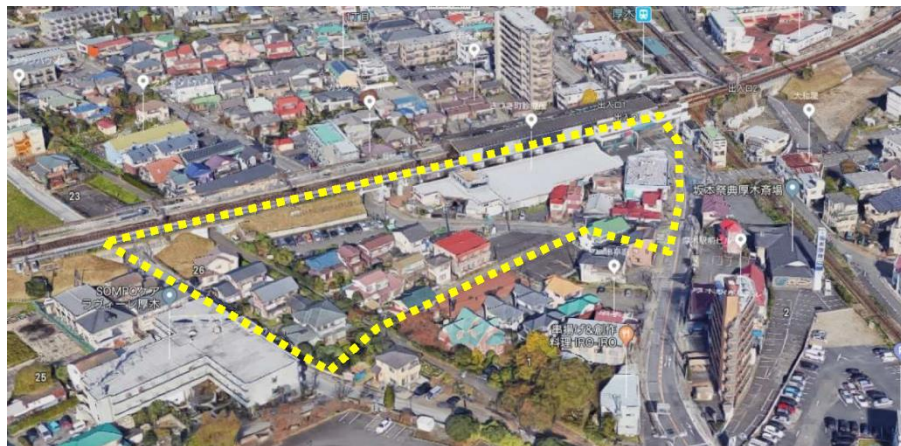


# 新たな開発の動き

## 第3回 ワークショップ

### ②厚木駅南地区市街地再開発事業

・2019年度に県より組合設立認可を受け、現在、共同住宅を主とした施設や駅前広場等の都市施設の整備が進んでいます。



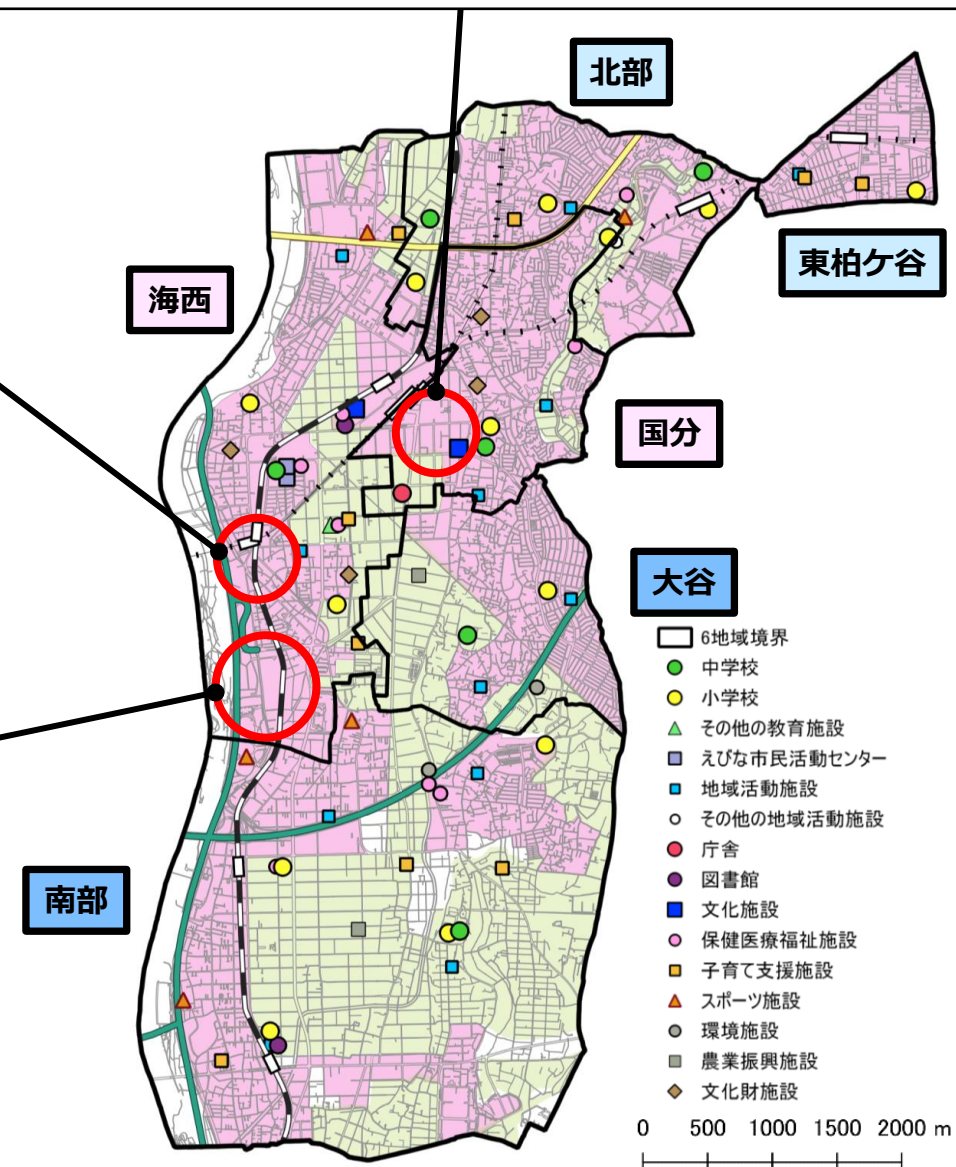
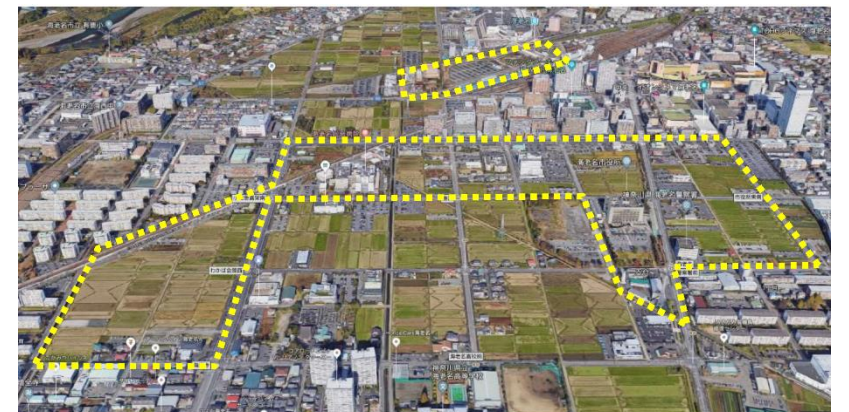
### ③運動公園周辺地区における工業系用地の創出

・土地区画整理事業の施行により新たな工業・流通拠点の整備を進め、2021年に事業が完了しました。現在、大規模流通施設等が整備されています。



### ①海老名駅周辺の大規模開発

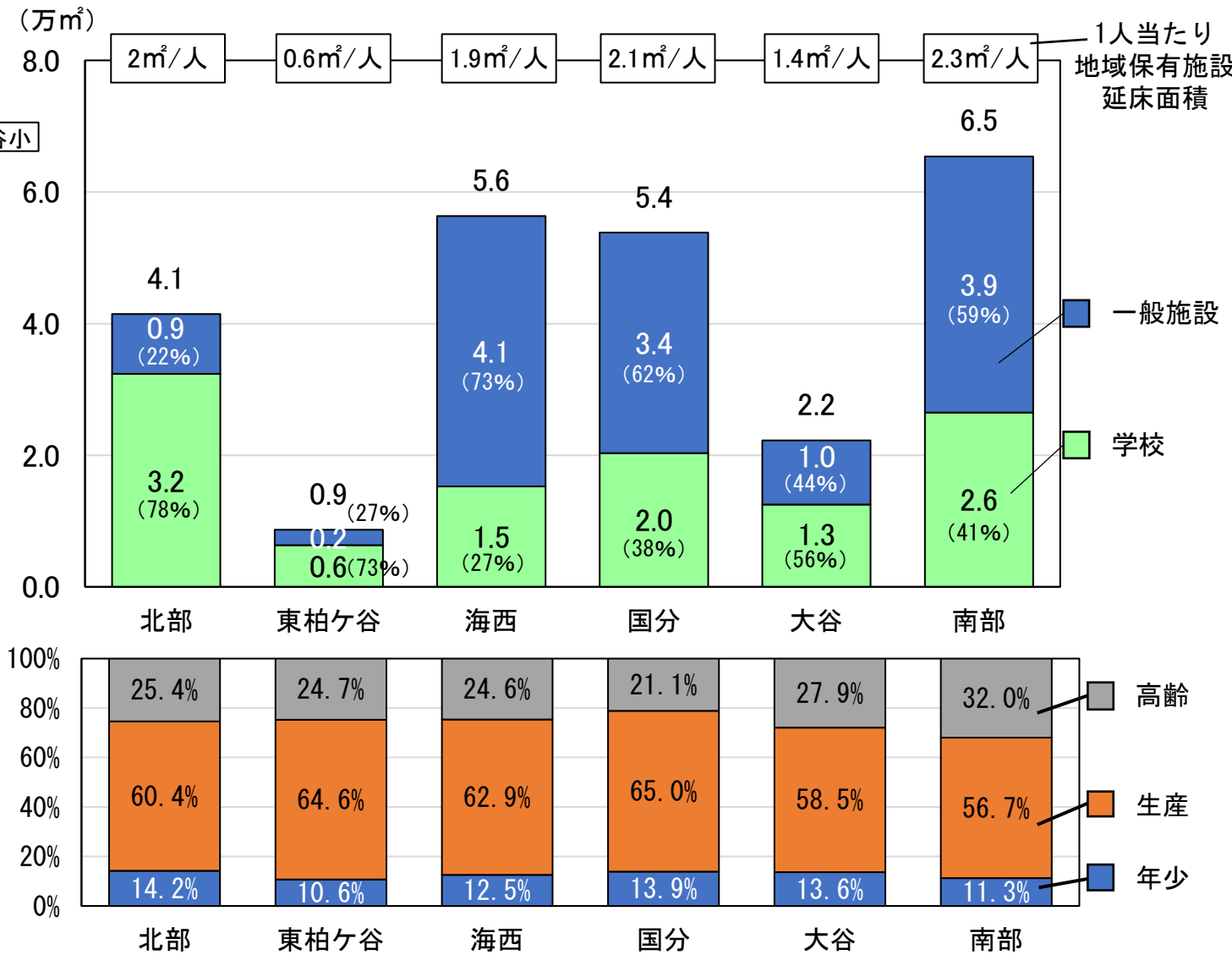
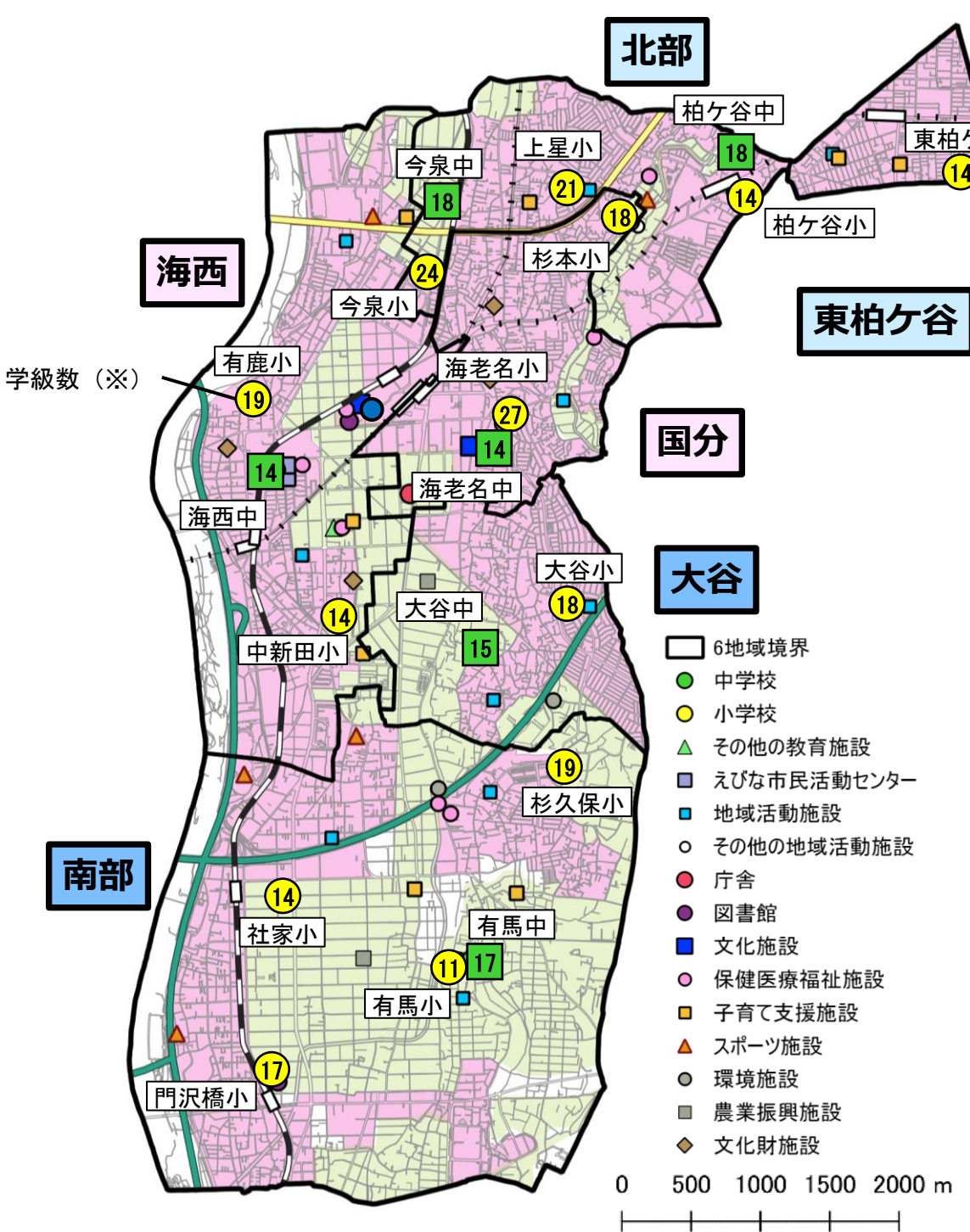
約35,000㎡の敷地を、「住宅エリア」と「賑わい創出エリア」の2つに分け、人口構成を踏まえた住宅の供給と商業施設を計画。





# 地域別施設保有量

- 海老名市が保有している公共施設の延床面積は約24.7万㎡です。
- 施設を多く保有している地域は南部地域の約6.5万㎡で、一番少ない地域は東柏ヶ谷地域の約0.9万㎡です。



(参考)

全施設合計延床面積	約24.7万㎡
市人口(2022年6月1日)	138,293人
1人当たり施設面積	1.8㎡/人

※ 学級数：2021年度実数（特別支援学級を含まない）

出典 施設延床面積：施設白書調査票、人口構成：P3～P5と同様

# 海老名市（2021年度）地域実態マップ

## 第3回ワークショップ

施設総延床面積  
約24.7万㎡  
人口：135,734人  
(2022年)

<小学校の学級数>

:19学級以上

:12～18学級

:11学級以下

<凡例>

赤枠は  
築30年以上

23

<学校>  
普通学級数(2021年度)

<集会系施設>  
※部屋機能を示す

ホール等  
体育室等  
和室等  
美術・工芸室等

会議室等  
音楽室・  
スタジオ等  
調理室

広域  
対応  
施設

地域  
対応  
施設

海西		北部		東柏ヶ谷		国分		大谷		南部		
海西中学区		今泉中学区		柏ヶ谷中学区		海老名中学区		大谷中学区		有馬中学区		
中新田小学区	有鹿小学区	今泉小学区	上星小学区	柏ヶ谷小学区	東柏ヶ谷小学区	杉本小学区	海老名小学区	大谷小学区	杉久保小学区	有馬小学区	門沢橋小学区	社家小学区
行政系施設 (4)	廃止済み❌ かしわ台連絡所 (かしわ台駅内)											
	廃止済み❌ 東柏ヶ谷連絡所 (民間施設内)											
	廃止済み❌ 海老名駅連絡所 (民間施設内)											
	1988年 (15,784㎡) 市庁舎											
	700㎡ 1995年 市民ギャラリー											
文化施設 (2)	ホール 9,200㎡ 1979年 1995年増築 文化会館											
	体育館 温水プール ピナスポ											
	体育室 屋内プール 2000年 (4,706㎡) 北部公園											
	管理棟 総合体育館 屋内プール 1989年 (11,987㎡) 中野公園 海老名運動公園											
	1984年 (3,629㎡) 31万冊 中央図書館											
図書館 (2)	1984年 (3,629㎡) 31万冊 中央図書館											
	1990年 (3,130㎡) わかば会館 (複合施設)											
	1982年 (1,677㎡) 医療センター 保健相談センター・子育て支援センター											
	1982年 (1,677㎡) 総合福祉会館											
	2012年 (3,484㎡) 食の創造館											
保健医療福祉 施設 (9)	1990年 (3,130㎡) わかば会館 (複合施設)											
	1982年 (1,677㎡) 医療センター 保健相談センター・子育て支援センター											
	1982年 (1,677㎡) 総合福祉会館											
	2012年 (3,484㎡) 食の創造館											
	2014年 (7,969㎡) えびな市民活動センター											
給食センター (1)	2014年 (7,969㎡) えびな市民活動センター											
	1988年 (1,179㎡) 中新田											
	1996年 (1,275㎡) 下今泉											
	1991年 (1,120㎡) 上今泉											
	1986年 (1,456㎡) 柏ヶ谷											
市民活動 センター (1)	1988年 (1,179㎡) 中新田											
	1996年 (1,275㎡) 下今泉											
	1991年 (1,120㎡) 上今泉											
	1986年 (1,456㎡) 柏ヶ谷											
	1992年 (1,377㎡) 国分											
コミュニティ センター (10)	1992年 (1,377㎡) 国分											
	1988年 (1,174㎡) 大谷											
	1993年 (1,158㎡) 杉久保											
	1994年 (1,179㎡) 本郷											
	1994年 (1,285㎡) 門沢橋											
文化センター (2)	1994年 (1,179㎡) 本郷											
	1994年 (1,285㎡) 門沢橋											
	1995年 (1,360㎡) 社家											
	1990年 (703㎡) 勝瀬											
	1998年 (599㎡) 国分寺台											
中学校 (6)	1974年 (6,424㎡) 14 海西											
	1983年 (6,552㎡) 18 今泉											
	1978年 (6,894㎡) 18 柏ヶ谷											
	1968年 (7,974㎡) 14 海老名											
	1980年 (6,509㎡) 15 大谷											
小学校 (13)	1970年 (6,840㎡) 17 有馬											
	1972年 (5,302㎡) 14 中新田											
	1967年 (5,332㎡) 19 有鹿											
	1983年 (6,938㎡) 24 今泉											
	1970年 (6,553㎡) 21 上星											
学童 (民間) (29)	1964年 (5,423㎡) 14 東柏ヶ谷											
	1974年 (6,347㎡) 14 杉本											
	1982年 (5,270㎡) 18 海老名											
	1977年 (7,063㎡) 18 大谷											
	1968年 (5,991㎡) 19 杉久保											
保育園 (公立) (6)	1972年 (4,941㎡) 11 有馬											
	1979年 (6,103㎡) 17 門沢橋											
	1972年 (4,941㎡) 11 有馬											
	1974年 (4,161㎡) 14 社家											
	1977年 (4,445㎡) 14 社家											
保育園 (公立) (6)	1998年 (787㎡) 中新田											
	1972年 (326㎡) 下今泉											
	1986年 (680㎡) 柏ヶ谷											
	1977年 (434㎡) 民間移管 勝瀬											
	2015年 (685㎡) 上河内											
保育園 (公立) (6)	2015年 (685㎡) 上河内											
	1971年 (328㎡) 門沢橋											
	1971年 (328㎡) 門沢橋											
	1971年 (328㎡) 門沢橋											
	1971年 (328㎡) 門沢橋											

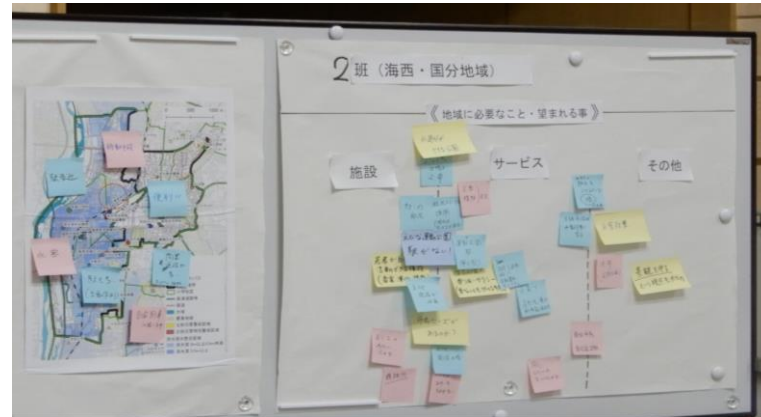


# 第3回グループ発表の概要

## 第3回ワークショップ

テーマ：「地域ごとにどうあるべきか考えよう！」

### ■グループワークの成果



課題

魅力

意見

### ■主な発表内容

#### 北部・東柏ヶ谷

- ・自然も公園もあって子育て世代が散歩の際に寄れる。
- ・駅も多く大型の買物施設もあって便利だが、住宅が密集しており、交通面の安全確保や渋滞などが課題。
- ・山の上にあり地盤は強いが、土砂災害対策が必要。

#### 海西・国分

- ・駅周辺には商業施設も多く便利だが、水害の危険も。
- ・自家用車に頼るから渋滞する。コミュニティバスなど公共交通を適正化すれば、渋滞も緩和する。
- ・他市からも人が集まる。魅力と情報の発信が課題。

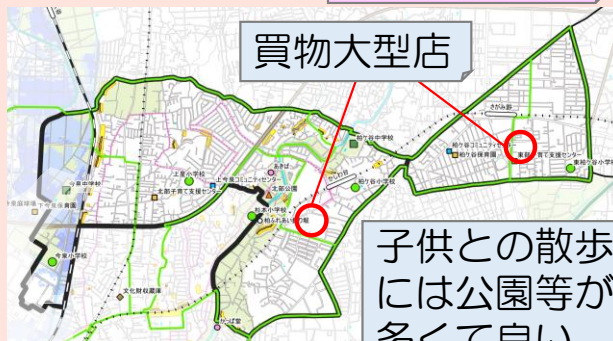
#### 大谷・南部

- ・圏央道で便利になったが、交通の便が悪くコミュニティバスの本数も少ない。高齢者の移動支援が必要。
- ・緑が豊かで果物や野菜がとれる。海老名SAに道の駅をつくり、地域の食材を使って活性化につなげる。

#### 北部・東柏ヶ谷

秋葉山古墳群はすばらしい

人口増に対して施設の数が少ないのでは？



買物大型店

子供との散歩には公園等が多くて良い

渋滞している

移動販売車充実、高齢者の買物サポート

傾斜地が多いため土砂災害想定地域が多い

小学校の教室が空いてきたら、老人福祉施設の検討をお願いしたい

#### 海西・国分

アクセスが便利

コミバスの時間の改定（早い時間、おそい時間）

駅周辺で用事が済む

商業施設が多い

浸水心配

広告・情報不足

大雨時危険

自家用車に頼りすぎ

避難所

児童・生徒が自由に使える場が欲しい

若者が自由に活動できる施設（音楽・演劇・撮影）

バス路線増やす→渋滞減る

#### 大谷・南部

大谷かぶきの施設

高齢化が進み、高齢者が暮らしにくくなっている

圏央道ができて便利になった

富士、丹沢の景勝地が多い

水害、浸水地域のそなえ

交通の便が悪い

地元の食材、野菜、お花、温室の活用

自然が多く残されてすばらしい、このまま残したい

SAに隣接した「道の駅」を作り、SA利用者を活用する

移動支援が必要（高齢者が多い、坂が多い）